

「白鷹町エネルギー計画（案）」に寄せられたご意見と町の考え方

白鷹町総務課  
平成 25 年 2 月

「白鷹町エネルギー計画（案）」につきまして、平成 25 年 2 月 5 日から平成 25 年 2 月 19 日までの間パブリックコメントを実施したところ、1 人から 2 件のご意見が寄せられましたので、その内容とそれに対する町の考え方をお知らせします。

貴重なご意見ありがとうございました。

No	意見の内容	町の考え方
1	P12 白鷹町のエネルギーの期待可採量は、466,734GJ と山形県全体の 0.5%ほどしかないようですが、計算は合っていますでしょうか。白鷹町と山形県を別の指標でみると、面積は山形県の約 2%、人口や世帯数もおおよそ 1%です。風力発電が期待できない分、期待可採量の割合が低いのでしょうか。	町の計画では、県の手法等を参考にして、町の地域特性等を勘案し改めて期待可採量の試算を行いました。例えば、太陽光発電であれば、「太陽光パネルを設置する用地」を県と異なるデータを採用して試算を行っています。このことから、県の試算と町の試算とで差が生じることとなったものです。
2	P20 再生可能エネルギー導入目標は 2022 年度までに 21,000GJ とし、町のエネルギー消費量の 3%としていますが、もっと高い目標の方がいいのではないのでしょうか。P22 を見ると、県全体では、2020 年度までにエネルギー消費量の 14%を再生可能エネルギーの導入目標と定めています。	町の導入目標については、エネルギー戦略会議や環境審議会等において、太陽光発電やバイオマス利用等の具体的な導入規模等を見据えながら検討を重ねて、町のエネルギー消費量のおおよそ 3%としたものです。また、県の開発目標には、本町において期待の小さい風力等のエネルギー分野が含まれていますが、町の導入目標については、木質バイオマス利用について積極的に見ているものの、これらの期待の小さいエネルギー分野を除いていることから、割合が低くなっているものです。